

令和4年4月22日（金）

科学の芽生え

今日は保育参観とクラス懇談会。新型コロナの影響で、PTA 総会は中止としました。おうちの人に来てくれると、いつもより張り切ったり甘えん坊になったりするのが自然な姿です。3年間の実績で、年長さんはおうちの人が見ていても普段通りの姿を見ていただくことができました😊

さて、年中組のクラス懇談中、子どもたちは外で遊んできました。大きなかごに1人乗り、4、5人がそのかごのひも引っぱっていた時の事。小さな車輪が土に突っかかり、かごがつんのめって（わかりますか？）しまいました。



男の子ひとりしか乗っていないのに、今日のかごはとても重くてなかなか前に進みません。なんでもかなあ。

かごをのぞき込んで、「タイヤが土に入ってるからじゃない？」見ると車輪が土に埋まっています。

「なんで埋まっちゃうのかなあ」と問いかけてみたら「ん～、土が柔らかいからかなあ？」（すごい！いい考え！）

「なんで柔らかいんだろうねー。」と言ってみたら「ん～、ぬれてるからじゃない？」（なるほど）「晴れてるのに何でぬれてるのかなあ。」もう一つ聞いてみると「あ、わかった、昨日雨が降ったからじゃない？」



ぬれてる土は埋まりやすいとの考えに至り、乾いた土めがけて「ここならかたいんじゃない？」とみんなで移動。かたい土の上でカラカラといい音を出してよく走っていました。

遊びの中での試行錯誤やひらめきが積み重なって、科学や物理につながっていくんですね。